

2013年1月研究会

日 時：2013年1月18日（金曜）18:00～19:30

会 場：同志社大学寒梅館 6階大会議室

講演者：通円 亮太郎（株式会社 通圓 取締役会長）

演 題：「橋守 850年」

司 会：林 廣茂（西安交通大学管理大学院客員教授、本学会理事）

主 催：一般社団法人事業承継学会

同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

講師プロフィール

通円 亮太郎（つうえん りょうたろう）

昭和20年（1945年）生まれ。同志社大学経済学部卒業

昭和43年（1968年）株鶴屋吉信入社

昭和45年（1970年）株 通圓入社

現在

株式会社 通圓 取締役会長

京都府茶協同組合 専務理事

公益社団法人 京都府茶業会議所 理事

宇治商工会議所 常議員 茶業部会・部会長

宇治源氏タウン銘店会 会長

世界遺産平等院 浄土院総代

あがた神社 総代

源氏物語宇治十帖 東屋観音保存会 会長 など



<講演要旨>

通圓は、日本最古の橋、日本三名橋の一つ宇治橋東詰で平安時代末の永暦元年(1160年)からの創業です。帝国データバンクの調べでは日本の長寿企業番付の10位に入る老舗で、京都では3番目に古い企業で茶商では日本で一番古い茶屋です。

吉川英治の小説「宮本武蔵」ではヒロインお通さんが、五味康祐の小説「柳生武芸帳」では武蔵が立ち寄った店としても登場します。

初代は源頼政の家臣として仕えた人で、晩年は隠居して太敬庵通圓政久と名乗り、以来宇治橋の橋守として850余年にわたり街道を行き交う旅人の無事息災を願って茶を供してきました。

講演では平安時代から現代にいたる数々の歴史やエピソードを画像とともに紹介したいと思います。

研究会参加者：24名